



資料

UDC 66.092:661.715:66.074:669.234:661.96

ブタン水蒸気改質—パラジウム合金膜透過法による  
高純度水素製造設備の概要

Outline of Pure Hydrogen Gas Generating Plant by Butane

Steam Reforming Palladium Membrane Process

有重長治\*

Choji Arishige

橋本卓郎\*\*

Takuro Hashimoto

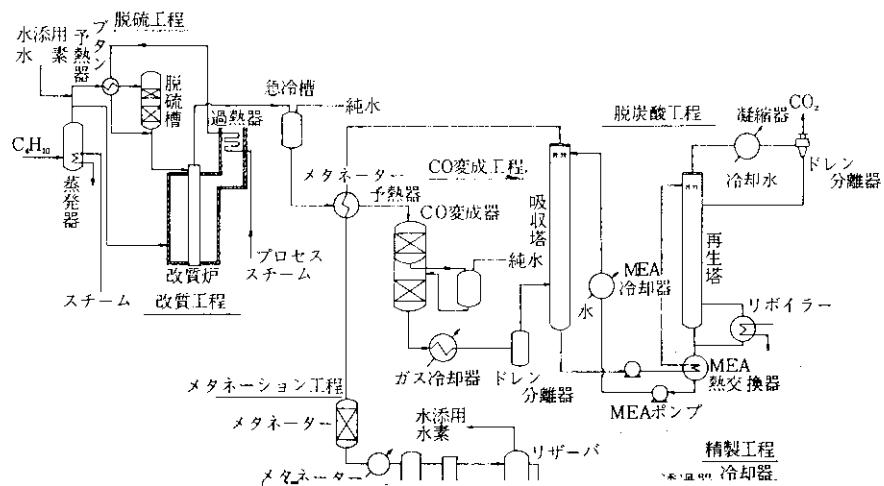


表 1 脱硫効果の1例

脱	I	組成 (vol %)							S (ppm)	操業データ	
		CH <sub>4</sub>	C <sub>2</sub> H <sub>6</sub>	C <sub>3</sub> H <sub>8</sub>	i-C <sub>4</sub> H <sub>10</sub>	n-C <sub>4</sub> H <sub>10</sub>	i-C <sub>5</sub> H <sub>12</sub>	n-C <sub>5</sub> H <sub>12</sub>		ブタン流量	31Nm <sup>3</sup> /h
	I	—	0.3	4.1	42.8	51.3	0.5	0.03	0.97	26.4	水添量 5Nm <sup>3</sup> /h

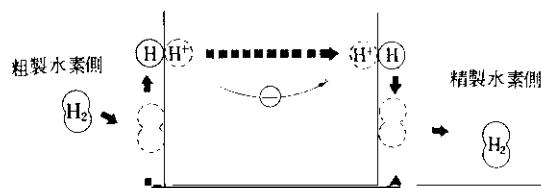
硫黄分の含有が 5ppm 以上となると触媒層の低温

とする混合ガスとなる。このガスをMEA (Mono

温部へ C<sub>4</sub>H<sub>10</sub> の形のまま流入するため、熱分解をここで CO<sub>2</sub> を吸収除去する。

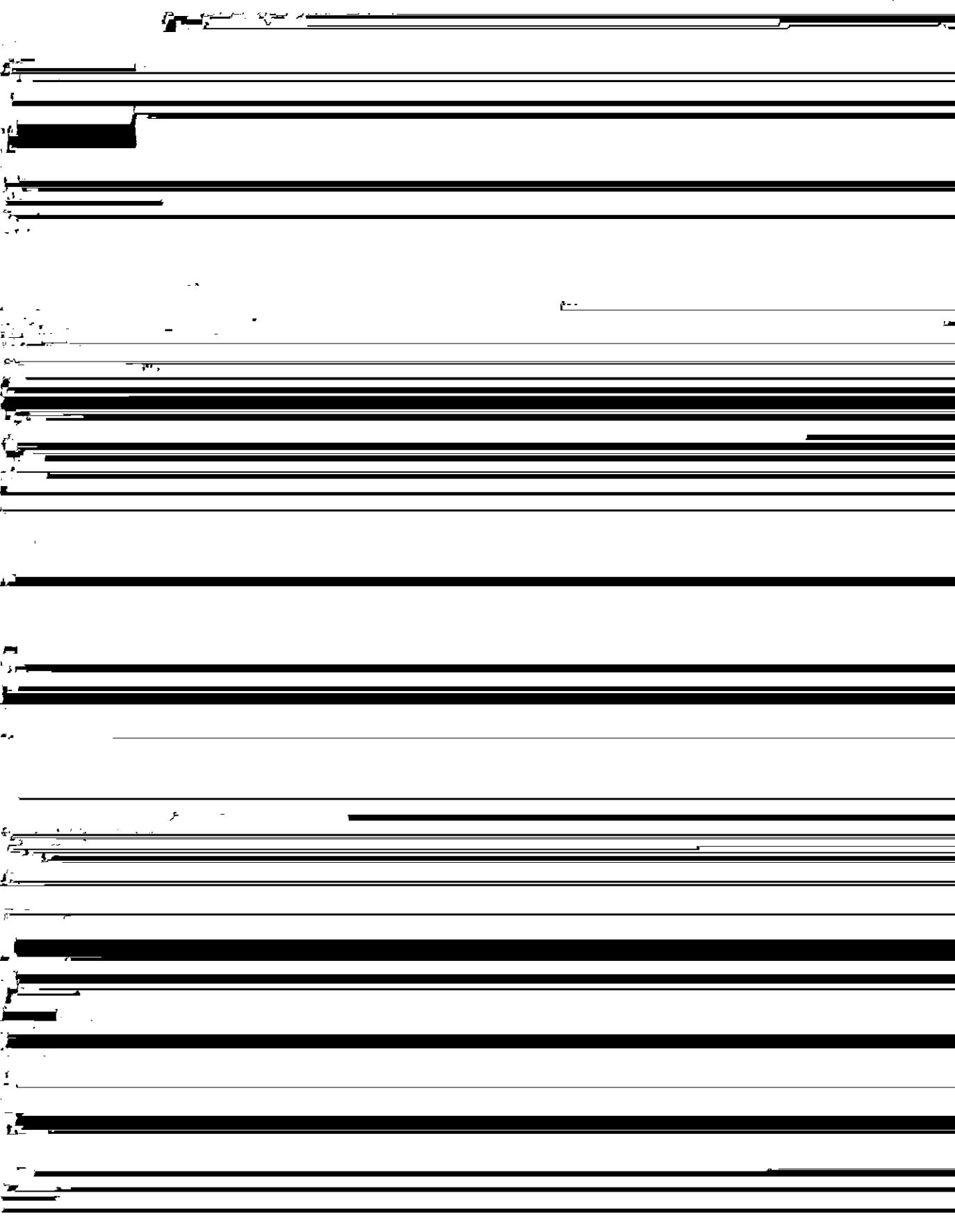
表 2 粗製水素発生工程の操業データの1例

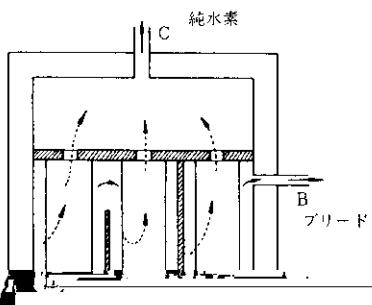
燃 料 C <sub>4</sub> H <sub>10</sub> 量 kg/h	設 計 値	100 % 負荷運転		80 % 負荷運転		
		66.2	62.5	62.5	57.1	45.3



シリング式およびカーボンリング式などがあるが、ラビリンス式は水素ガスのため漏れが多く不適であり、テフロン式も分解にさいして発する F が Pd 合金膜に有害なため使用できない。したがって、現在不適足ではあるがカーボンリング式の

図 3 Pd合金膜における水素拡散の機構





項目	負荷%	60	70	80	90	100
粗水素量 m <sup>3</sup> /h		222.0	259.0	296.0	333.0	369.0
CH <sub>4</sub> 含有率 %		2.4	2.5	2.8	2.9	3.0
粗水素圧力 kg/cm <sup>2</sup>		9.4	9.5	9.5	9.5	9.6
純水素流量 m <sup>3</sup> /h		216.0	239.0	262.0	285.0	300.0
透過率(純水素/粗水素)		97.4	92.9	88.6	85.5	81.4

特に停電あるいは蒸気圧低下など緊急時には、

収率が低下するため、生産量が増加するにしたが

$N_2$  回路を開いて、系内を  $N_2$  で置換し触媒および設備の損傷を防止するよう図っている。

図6-4 活潑駆動能の順序を示すものとの図

る。しかし、透過器から廃棄される不純ガスは、  
 $\text{CH}_4$  15%を含む粗  $\text{H}_2$  であるから、これを改質炉  
前段に循環させて、 $\text{H}_2$  の回収率を高めよう。